

大正九年 創設セリ (金融部施設事項参照)

報徳十七夜講 本組 創 之 際 部 藩 有 助

産ヨリ讓渡ヲ受ケタル觀 音 堂 ヲ 利

用シ花田中佐ノ主唱ニ係ル報徳主義

ヲ加味シ毎月觀音ノ縁日タル十七夜

ニ僧侶又ハ名士ヲ招聘シテ講話會

ヲ開キ當日風波等ノ爲休演中十

ルトキハ青年ヲ主トシ然ニサカ場

合ハ婦女老幼ヲ集メ思想ノ善導ヲ

主眼トシ精神修養ニ資セシム

長命講 組合員各自力安シテ其業

務ニ服シ一家團一築ノ梁ニシテ互ニハ

實ニ父兄勤勞結果ニ依リテ大ニシテ信

シ報徳謝恩

其家族ニシテ年齢六十歳以上者ヲ

招シ毎年一回慰安會ヲ催ス

本講ハ主トシテ持主家ノ寄附ニヨリ

基本金四百六十餘円ヲ有シ之ヨリ生

スル利息ト組合ヨリ毎年金十五

円大船頭ヨリ金十円ヲ寄贈シテ

經費ニ當テ基本金ハ組合ニ於テ

之ヲ保管ス

七 遭難救恤部

組合規約ノ定ムル所ニヨリ

剩餘金ノ百分十以上ヲ遭難救恤基金

トシテ積立シテノ方法ニヨリ救恤ノ算ニ

九